

横須賀市の人口の動向

人口の推移・将来推計	… p2
自然減の現状	… p8
社会減の現状	… p17

資料 2

横須賀市政策推進・行政評価委員会

令和 5 年(2023年) 8/1, 8/9

人口の推移・将来推計

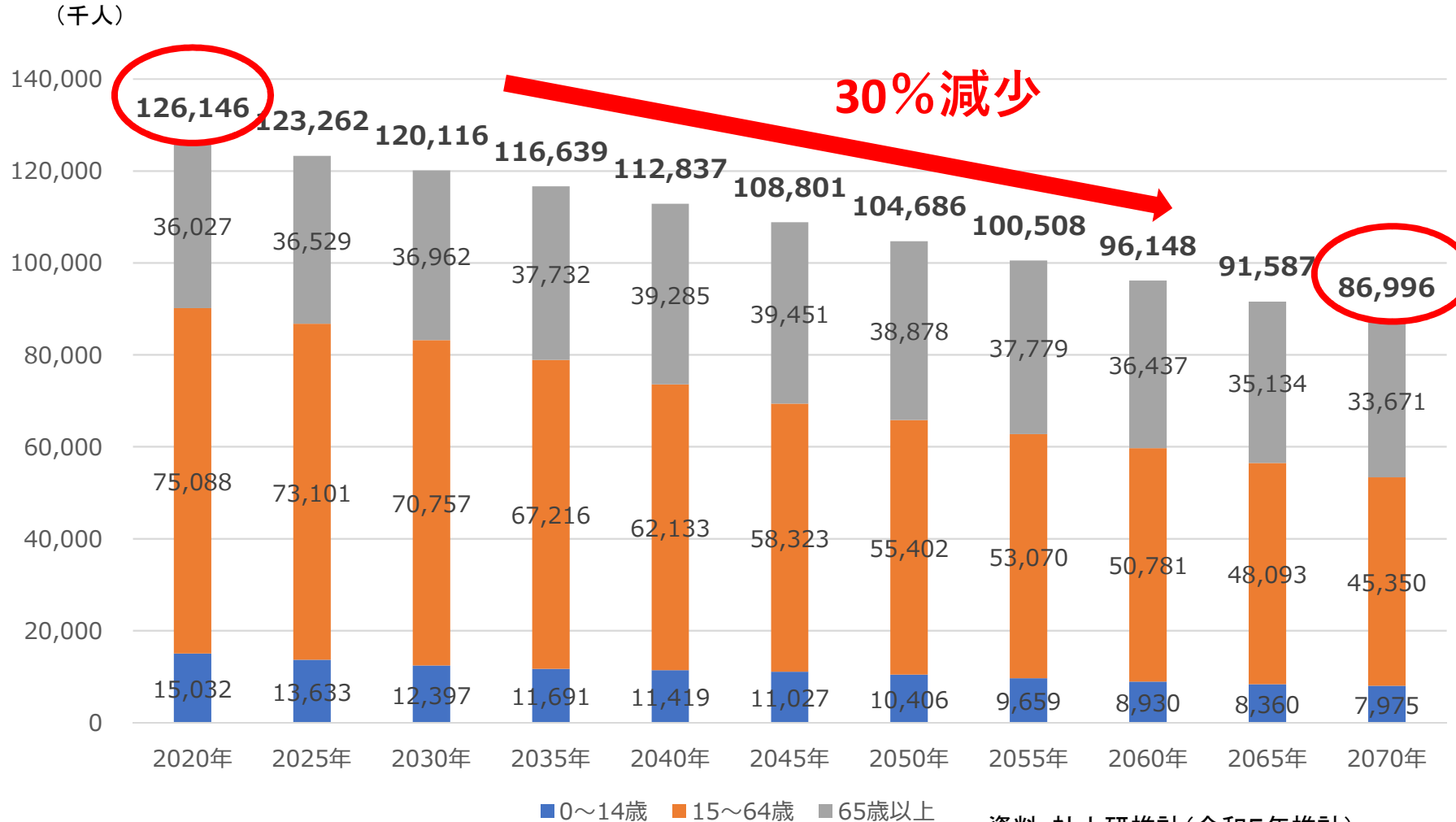
日本の将来人口の推移

資料 2

横須賀市政策推進・行政評価委員会

令和5年(2023年) 8/1, 8/9

日本の人口減少は、今後も続いていく。



資料: 社人研推計(令和5年推計)

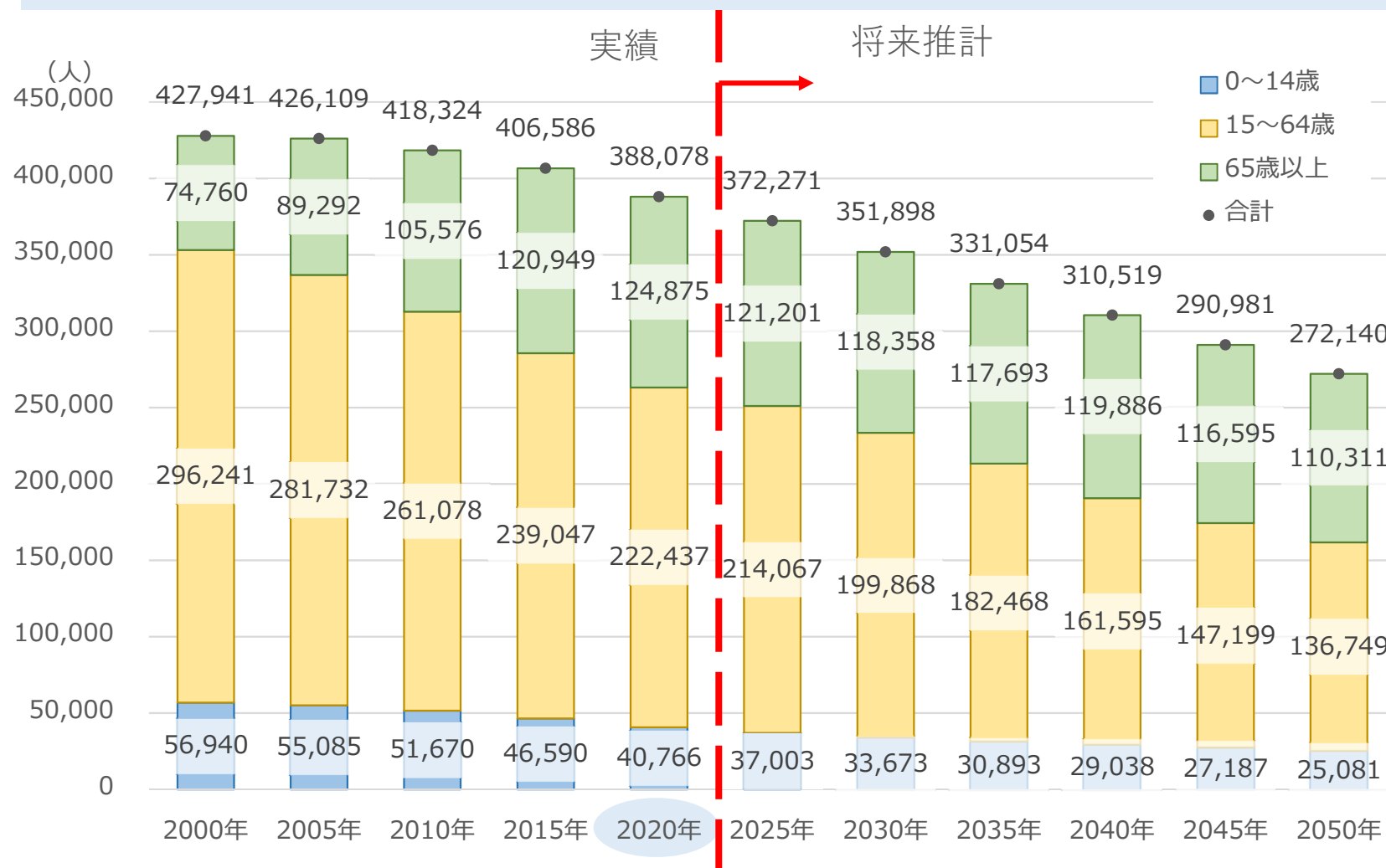
横須賀市の人口推移と将来推計

資料 2

横須賀市政策推進・行政評価委員会

令和 5 年(2023年) 8/1, 8/9

- ・ 1990年ごろの43万人をピークに減少傾向
- ・ 減少は速く（2000年→2020年（△9.3%）、2020年→2040年（△20.0%））



資料：国勢調査およびYOKOSUKAビジョン2030

年齢階層別人口の変化

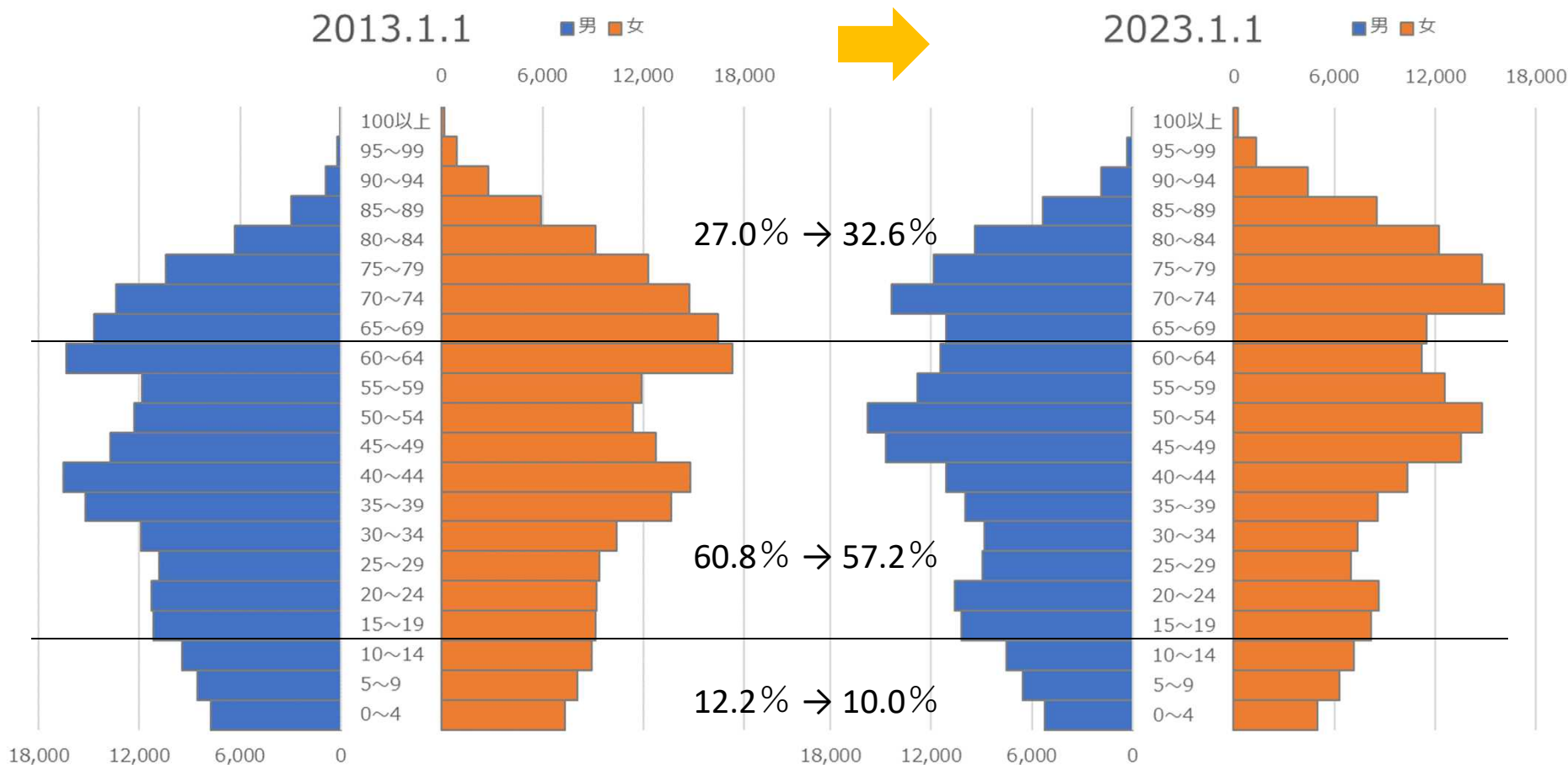
資料 2

横須賀市政策推進・行政評価委員会

令和 5 年(2023年) 8/1, 8/9

15歳未満人口は、10年前より1万2千人減少
 総人口に占める割合は10.0%で10年前より2.2ポイント減

- ・ 15歳未満人口は、3万7千人で、割合は、10年前より2.2ポイント減の **10.0%**
- ・ 15～64歳人口は、21万6千人で、割合は、10年前より3.6ポイント減の **57.2%**
- ・ 65歳以上人口は、12万3千人で、割合は、10年前より5.6ポイント増の **32.6%**



資料: 神奈川県年齢別人口統計調査

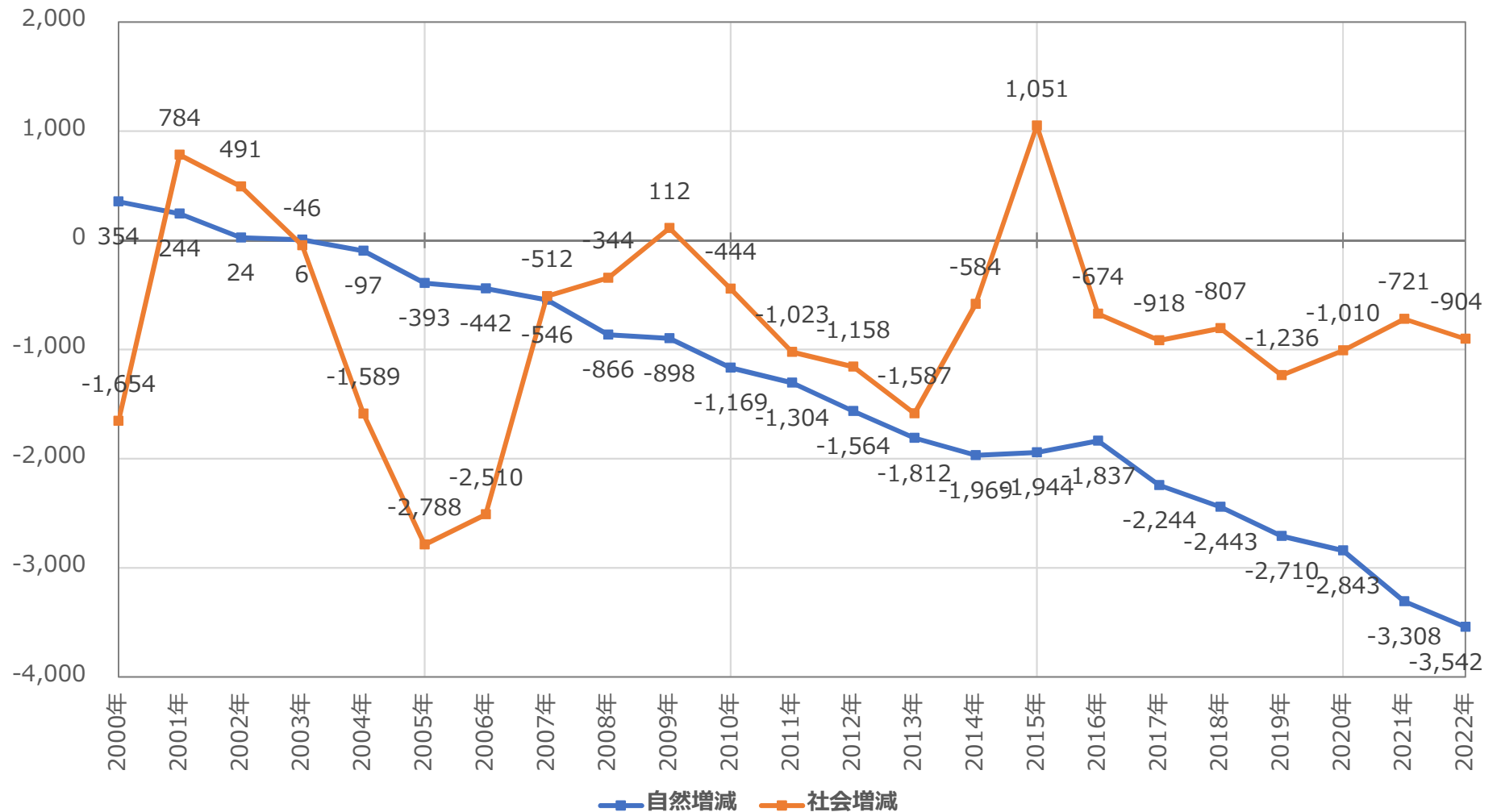
横須賀の自然増減と社会増減の推移

資料 2

横須賀市政策推進・行政評価委員会

令和 5 年(2023年) 8/1, 8/9

「自然減」と「社会減」の両方が生じている。



資料：令和 4 年度版横須賀市統計書

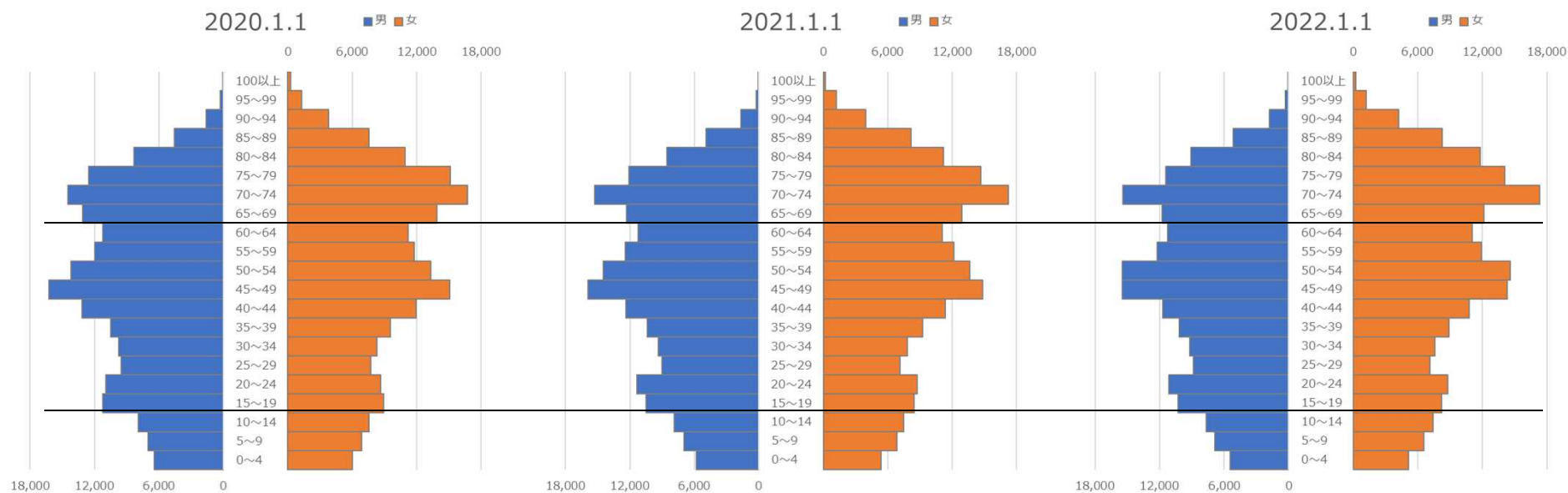
(参考) 年齢階層別人口の変化

資料 2

横須賀市政策推進・行政評価委員会

令和5年(2023年) 8/1, 8/9

コロナ禍において、人口構造の変化は見られない。



資料: 神奈川県年齢別人口統計調査

資料 2

横須賀市政策推進・行政評価委員会

令和 5 年(2023年) 8/1, 8/9

自然減の現状

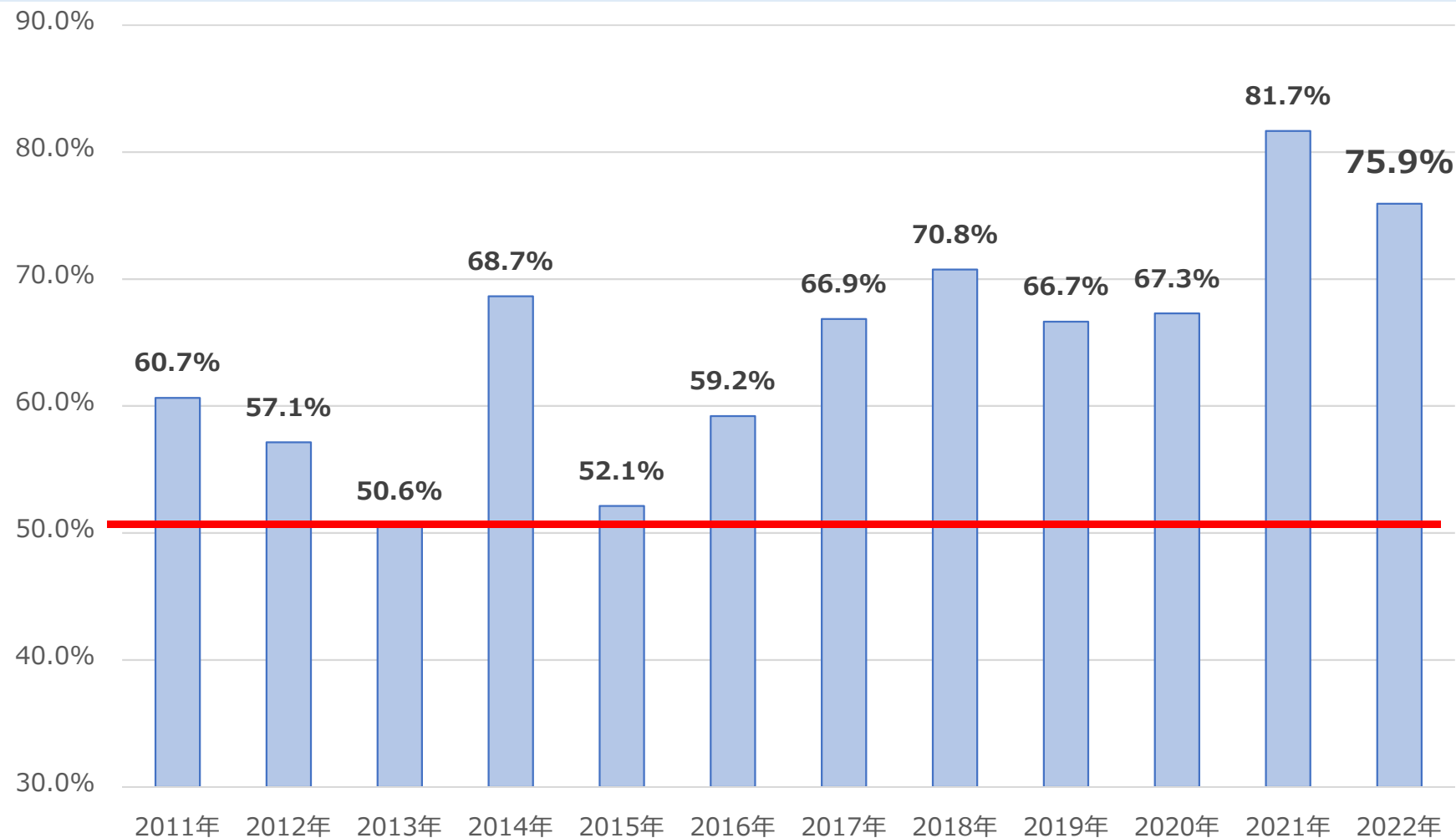
自然減の割合（自然減 / （自然減 + 社会減））

資料 2

横須賀市政策推進・行政評価委員会

令和 5 年(2023年) 8/1, 8/9

- ・人口減の要因は、自然減の影響が大きい（自然減の割合が 5 割超）
- ・2022年では、**8割**が自然減



資料：住民基本台帳人口移動報告

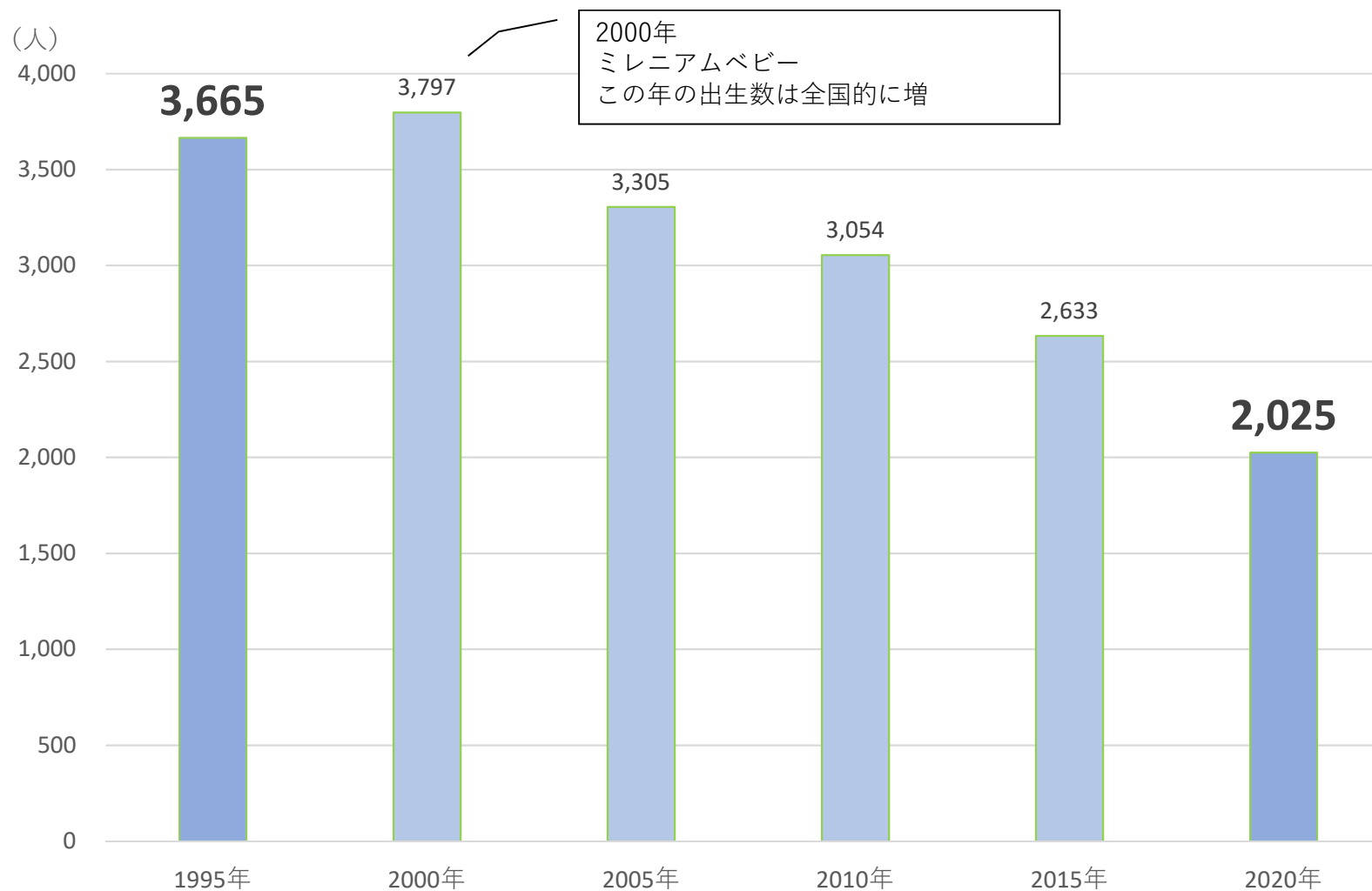
出生数の推移

資料 2

横須賀市政策推進・行政評価委員会

令和 5 年(2023年) 8/1, 8/9

- ・ 出生数は減少傾向。25年前（四半世紀）で半分程度まで低下
1995年 3,665人 → 2020年 2,025人（△1,640人、△44.7%）



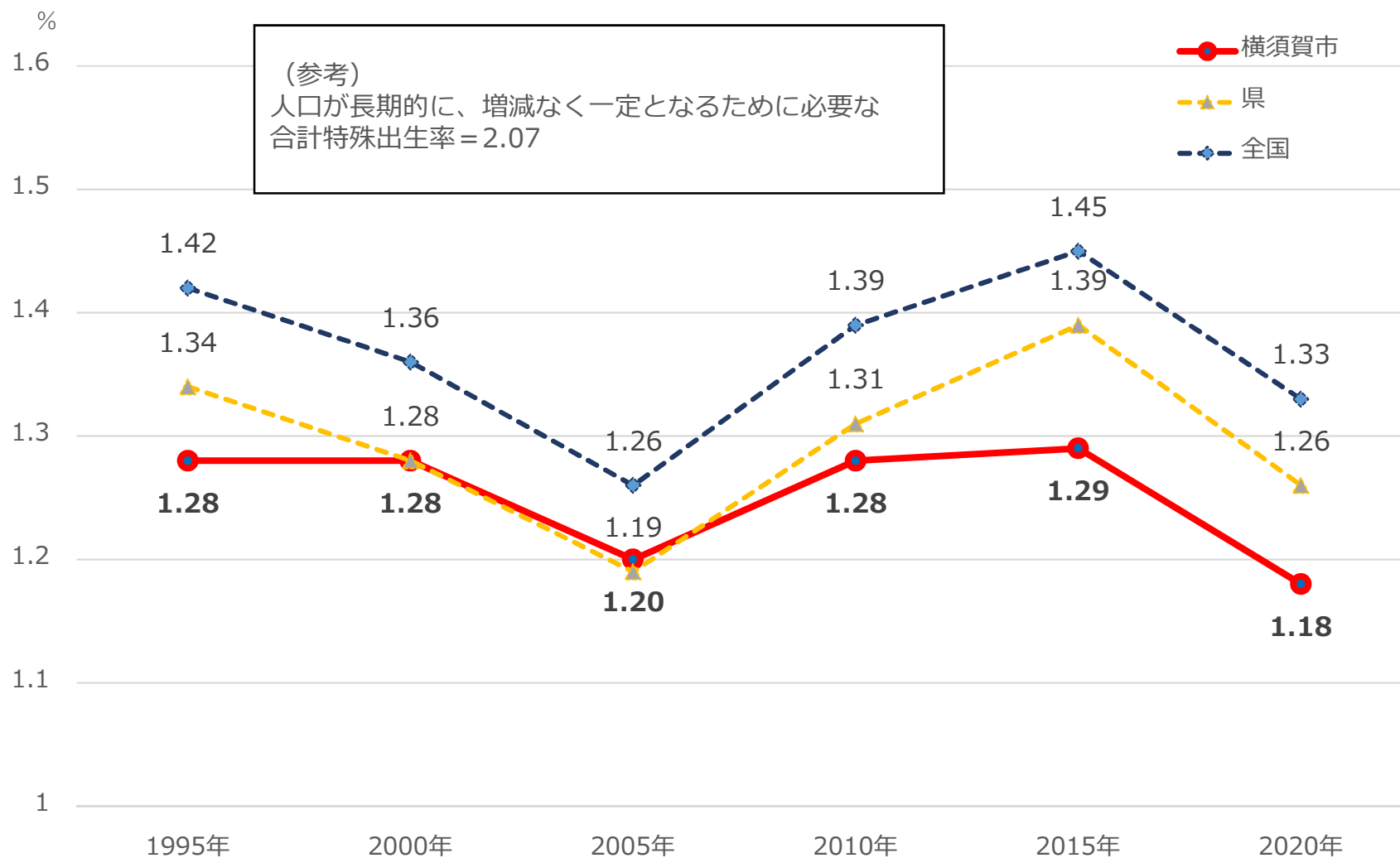
合計特殊出生率の推移

資料 2

横須賀市政策推進・行政評価委員会

令和 5 年(2023年) 8/1, 8/9

- ・ 合計特殊出生率は、低下傾向



資料：衛生年報

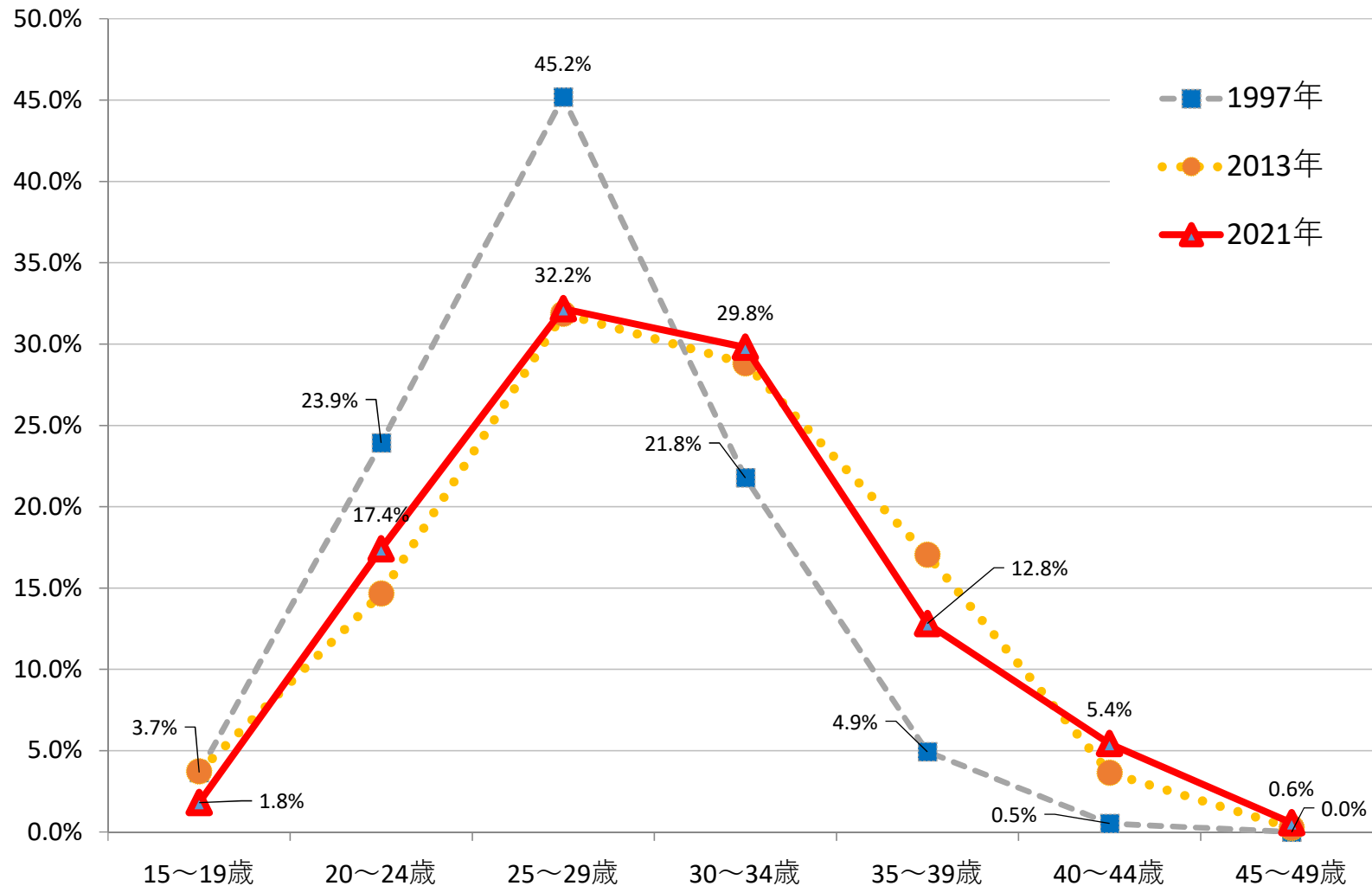
母の年齢階級別第1子出生児数の割合

資料2

横須賀市政策推進・行政評価委員会

令和5年(2023年) 8/1, 8/9

・第1子の出生年齢は、25～34歳がボリュームゾーン



資料：衛生年報をもとに作成

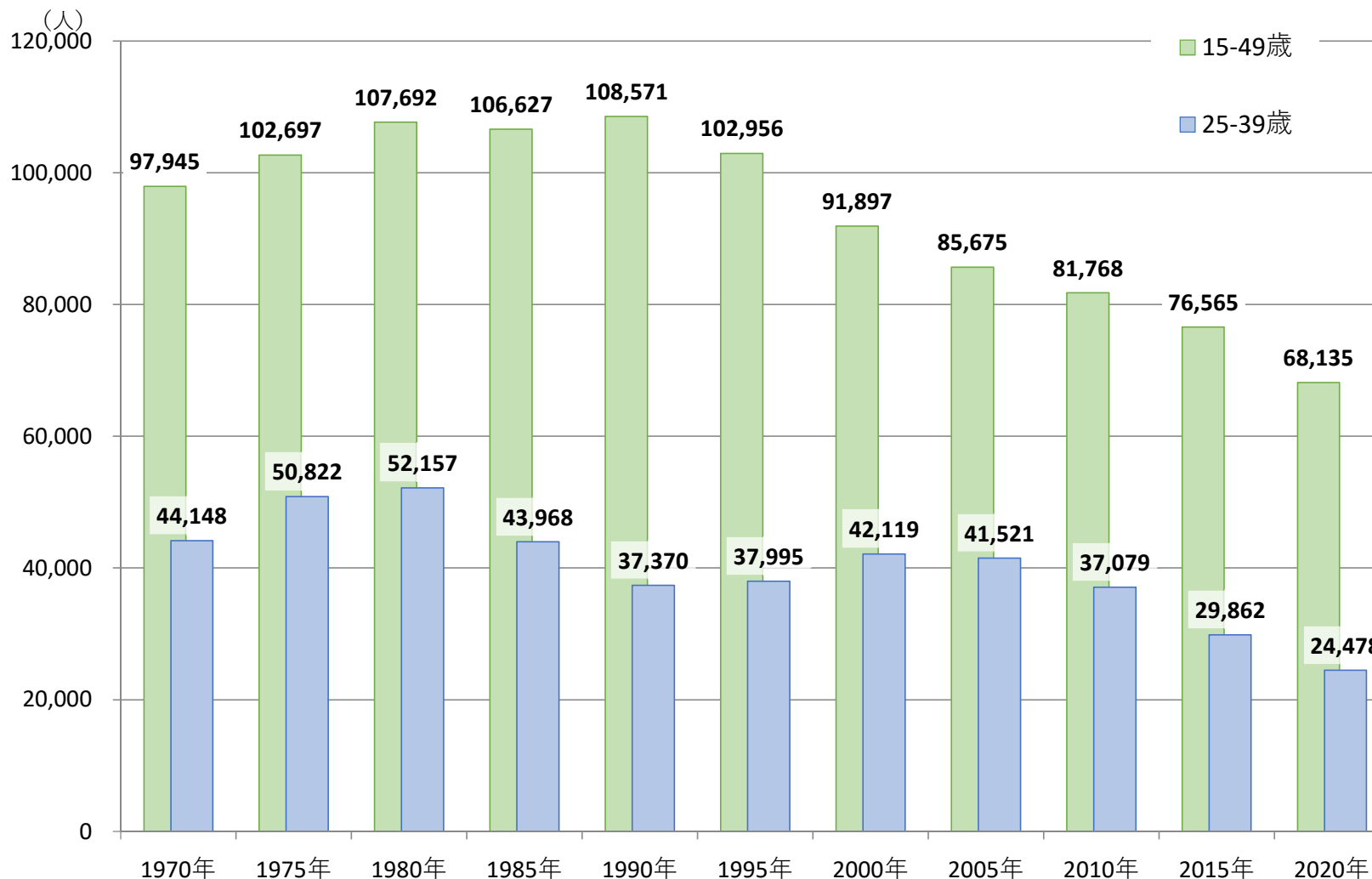
女性人口の推移（15-49歳、25-39歳）

資料 2

横須賀市政策推進・行政評価委員会

令和 5 年(2023年) 8/1, 8/9

- ・ 妊娠・出産に主に関わる年齢の女性の人口も、市全体の人口同様、**減少傾向** 出生数が少ない状況に影響していると推測



資料：国勢調査

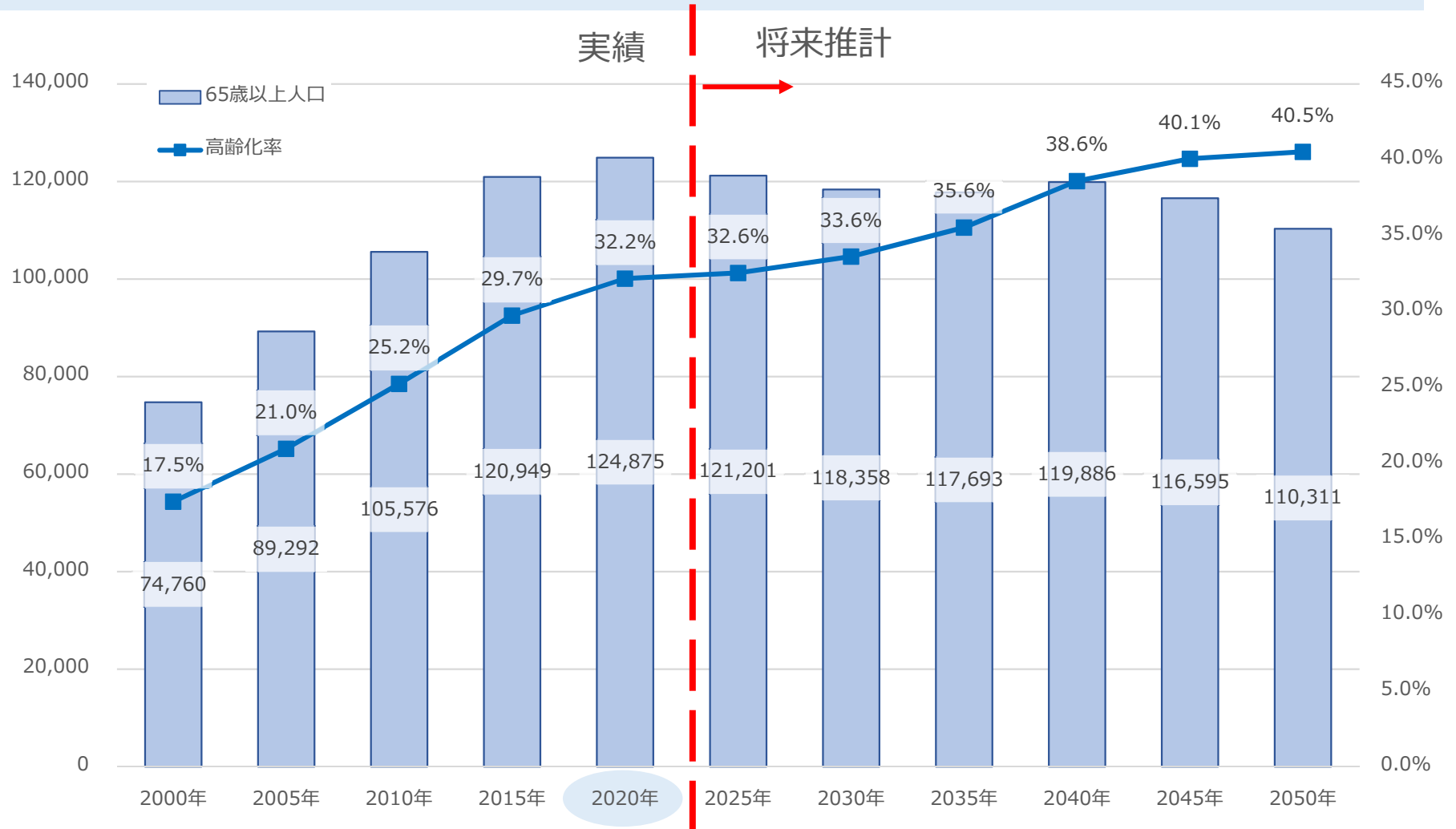
高齢化の推移と将来推計

資料 2

横須賀市政策推進・行政評価委員会

令和 5 年(2023年) 8/1, 8/9

- ・ 高齢者人口（65歳以上）は、2020年（現在）がピークの状態、今後減少
年少人口（0-14歳）や生産年齢人口（15-64歳）の減少に伴い、高齢化率は今後も上昇



資料：国勢調査およびYOKOSUKAビジョン2030

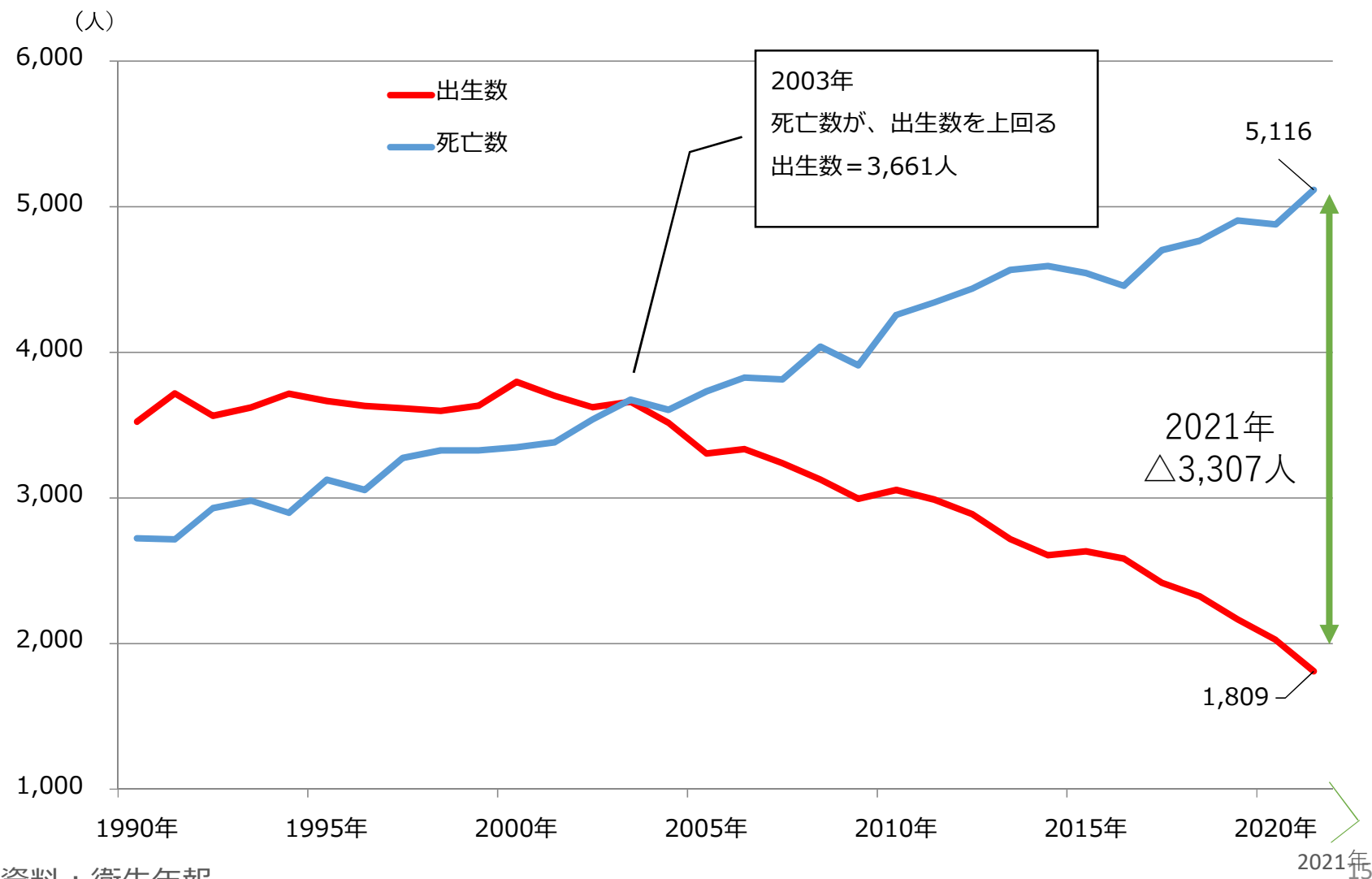
出生数・死亡数の推移

資料 2

横須賀市政策推進・行政評価委員会

令和 5 年(2023年) 8/1, 8/9

・ 2003年に死亡数が出生数を上回り、それ以降**自然減**に



資料：衛生年報

横須賀の「自然減」について

資料2

横須賀市政策推進・行政評価委員会
令和5年(2023年) 8/1, 8/9

- 妊娠・出産に主に関わる年齢（15～49歳）の女性人口
⇒ **減少**傾向
- 合計特殊率 ⇒ **低下**傾向
- 死亡数 ⇒ **増加**傾向



今後も自然減（死亡数 > 出生数）の流れは続く

資料 2

横須賀市政策推進・行政評価委員会

令和 5 年(2023年) 8/1, 8/9

社会減の現状

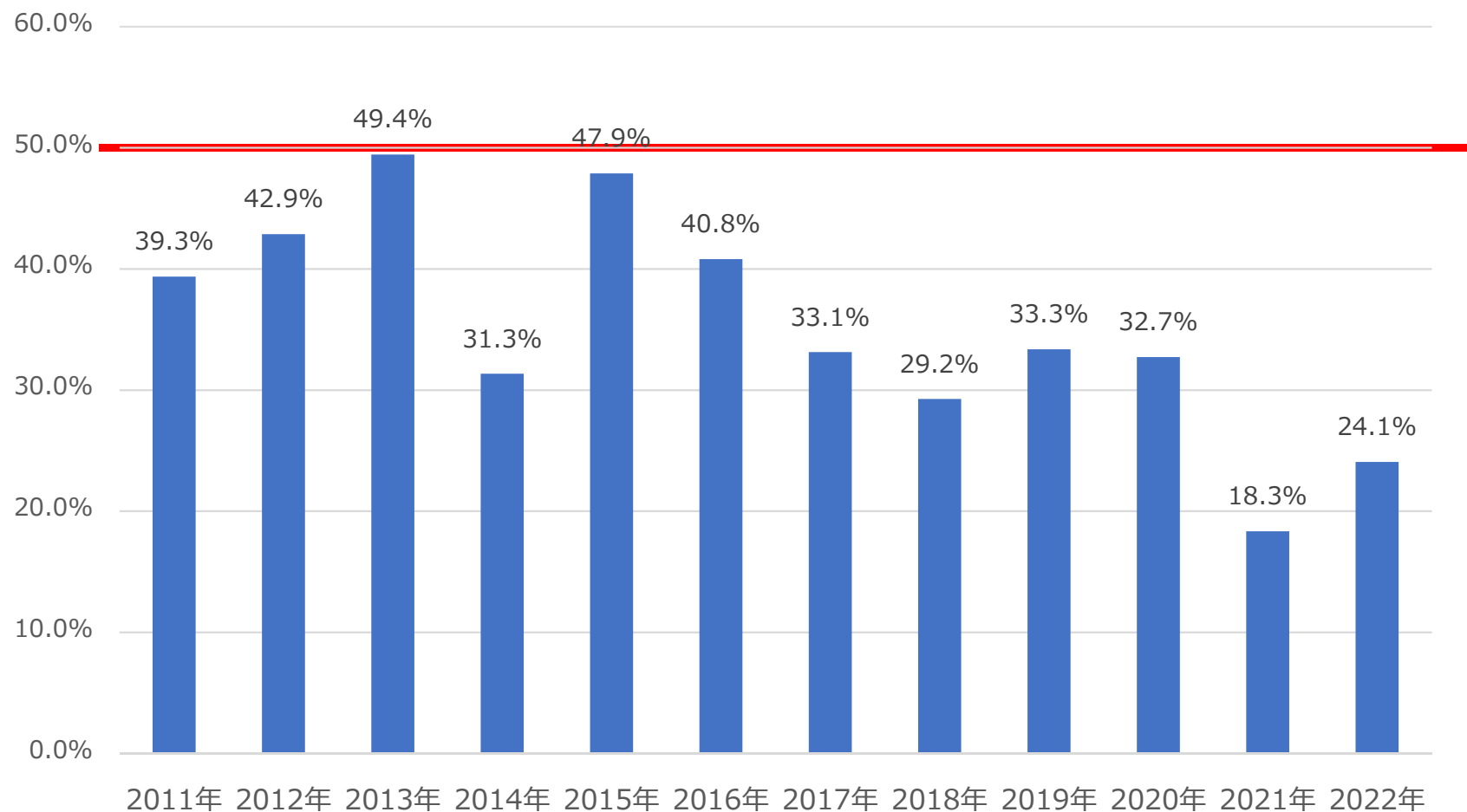
社会減の割合（社会減 / （自然減 + 社会減））

資料 2

横須賀市政策推進・行政評価委員会

令和 5 年(2023年) 8/1, 8/9

- ・人口減のうち、社会減の割合は 5 割以下
- ・直近 5 年間の人口減に占める社会減の割合は、**2 ~ 3 割**



資料：住民基本台帳人口移動報告

年代別の転入転出の推移（2011年→2021年）

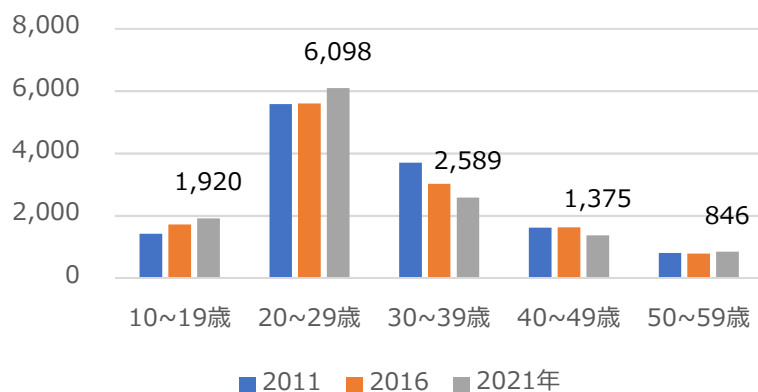
資料 2

横須賀市政策推進・行政評価委員会

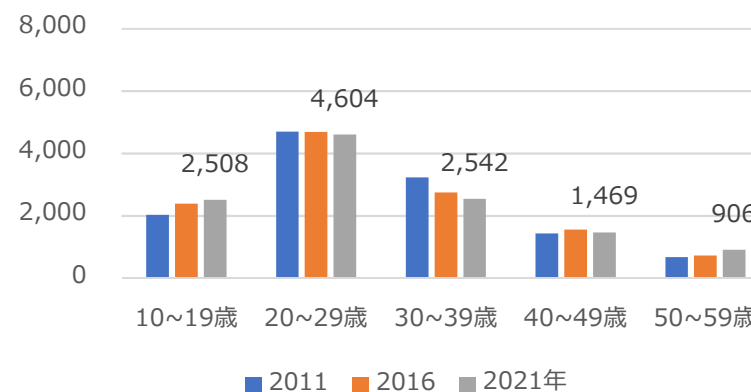
令和 5 年(2023年) 8/1, 8/9

転入・転出ともに大きな変化はなく、ほぼ横ばい。

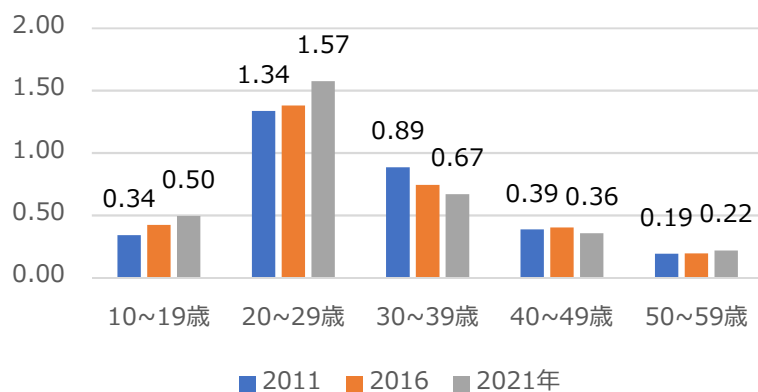
転出数



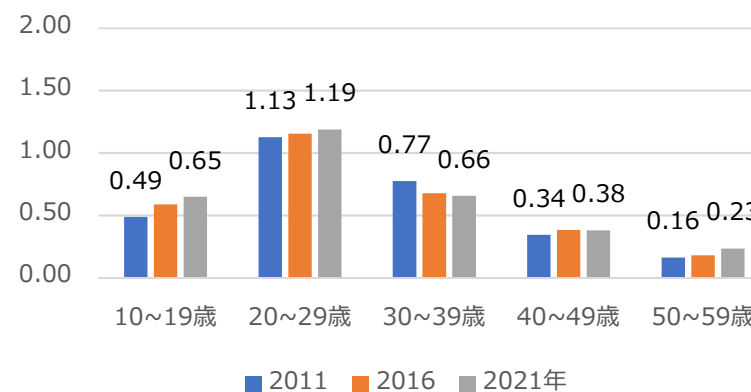
転入数



転出率



転入率



年代別転出率・転入率の他都市比較

資料 2

横須賀市政策推進・行政評価委員会

令和 5 年(2023年) 8/1, 8/9

転出率他都市比較

(自衛隊営内居住者の影響を除いた数値で算出)

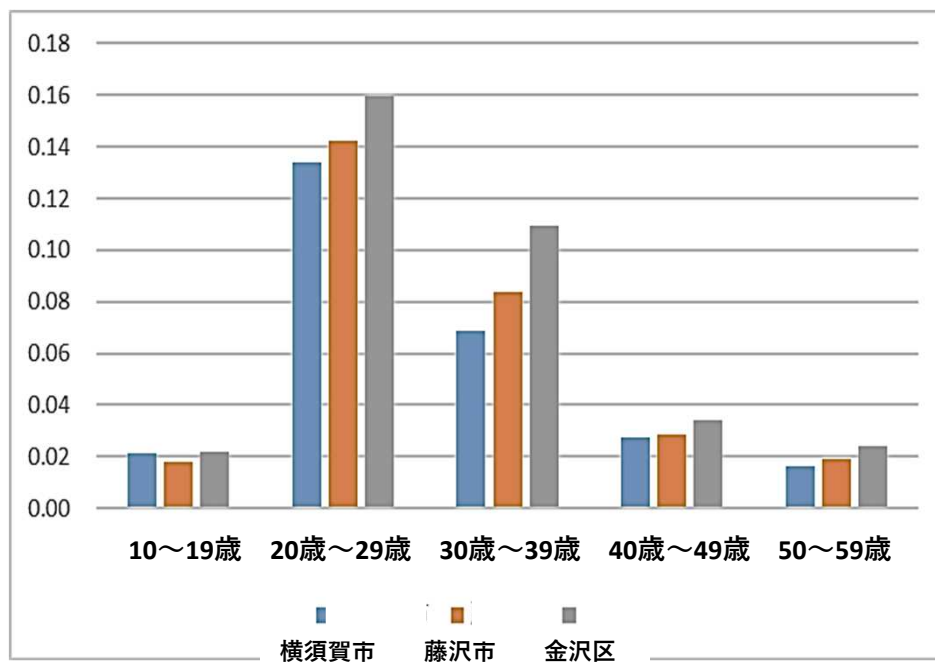
- ・年代別転出率は、近隣他都市と比較して低い。
特に30代のその傾向が強く見える。

転入率他都市比較

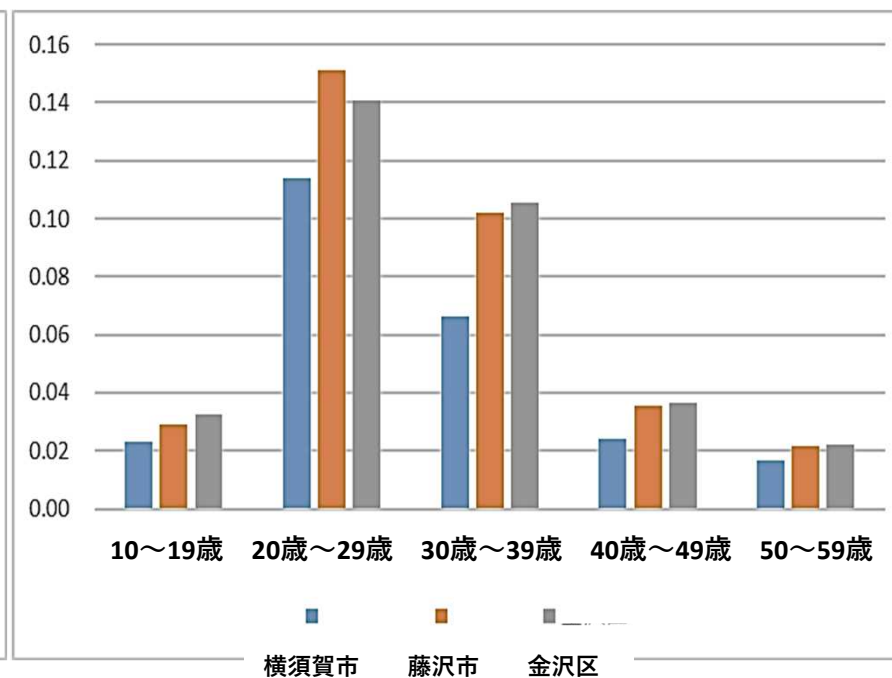
(自衛隊営内居住者の影響を除いた数値で算出)

- ・年代別転入率も、近隣他都市と比べて低い。
転出と同様に特に30代にその傾向が強く見える。

年代別転出率（他都市との比較）



年代別転入率（他都市との比較）



資料：神奈川県人口統計調査（2019）

横須賀の「社会減」について

資料 2

横須賀市政策推進・行政評価委員会
令和5年(2023年) 8/1, 8/9

令和4年度中の転出者数比較

(神奈川県内44市区中比較)

順位(高い順)	市区名	人口に占める割合(%)	人口(人)	転出者数(人)
1	横浜市西区	8.51	105,634	8,989
2	横浜市中区	8.04	151,031	12,146
3	川崎市中原区	8.00	265,219	21,215
4	川崎市高津区	6.96	233,880	16,288
5	川崎市多摩区	6.88	224,176	15,423
6	横浜市神奈川区	6.80	248,878	16,918
7	横浜市港北区	6.47	362,084	23,423

.....

32	海老名市	4.13	139,538	5,762
33	横須賀市	4.07	378,814	15,403
34	横浜市泉区	4.06	151,417	6,154
35	藤沢市	4.06	443,832	18,021
36	逗子市	4.05	56,437	2,288
37	鎌倉市	4.00	172,107	6,888
38	横浜市旭区	3.98	242,382	9,657
39	小田原市	3.79	187,166	7,102
40	秦野市	3.52	161,610	5,689
41	茅ヶ崎市	3.47	244,359	8,490
42	南足柄市	3.27	40,125	1,311
43	平塚市	3.25	257,649	8,371
44	三浦市	3.03	40,841	1,238

令和4年度中の転入者数比較

(神奈川県内44市区中比較)

順位(高い順)	市区名	人口に占める割合(%)	人口(人)	転入者数(人)
1	横浜市西区	9.81	105,634	10,364
2	横浜市中区	9.27	151,031	13,995
3	川崎市中原区	8.17	265,219	21,669
4	横浜市神奈川区	7.63	248,878	18,978
5	川崎市多摩区	7.42	224,176	16,625
6	横浜市港北区	7.18	362,084	25,989
7	横浜市南区	7.06	197,430	13,941

.....

32	横浜市港南区	4.49	214,312	9,623
33	横浜市金沢区	4.41	195,892	8,636
34	相模原市緑区	4.33	168,690	7,307
35	横浜市旭区	4.31	242,382	10,453
36	小田原市	4.20	187,166	7,863
37	横浜市泉区	4.17	151,417	6,309
38	逗子市	4.16	56,437	2,350
39	茅ヶ崎市	4.09	244,359	9,992
40	秦野市	4.00	161,610	6,469
41	平塚市	3.90	257,649	10,047
42	横須賀市	3.83	378,814	14,499
43	南足柄市	3.73	40,125	1,496
44	三浦市	3.16	40,841	1,291

資料：神奈川県人口統計調査「神奈川県の人口と世帯」

転出率は、県内他市区に比較して**高くない**。 転入率は、県内他市区に比べて**低い**。

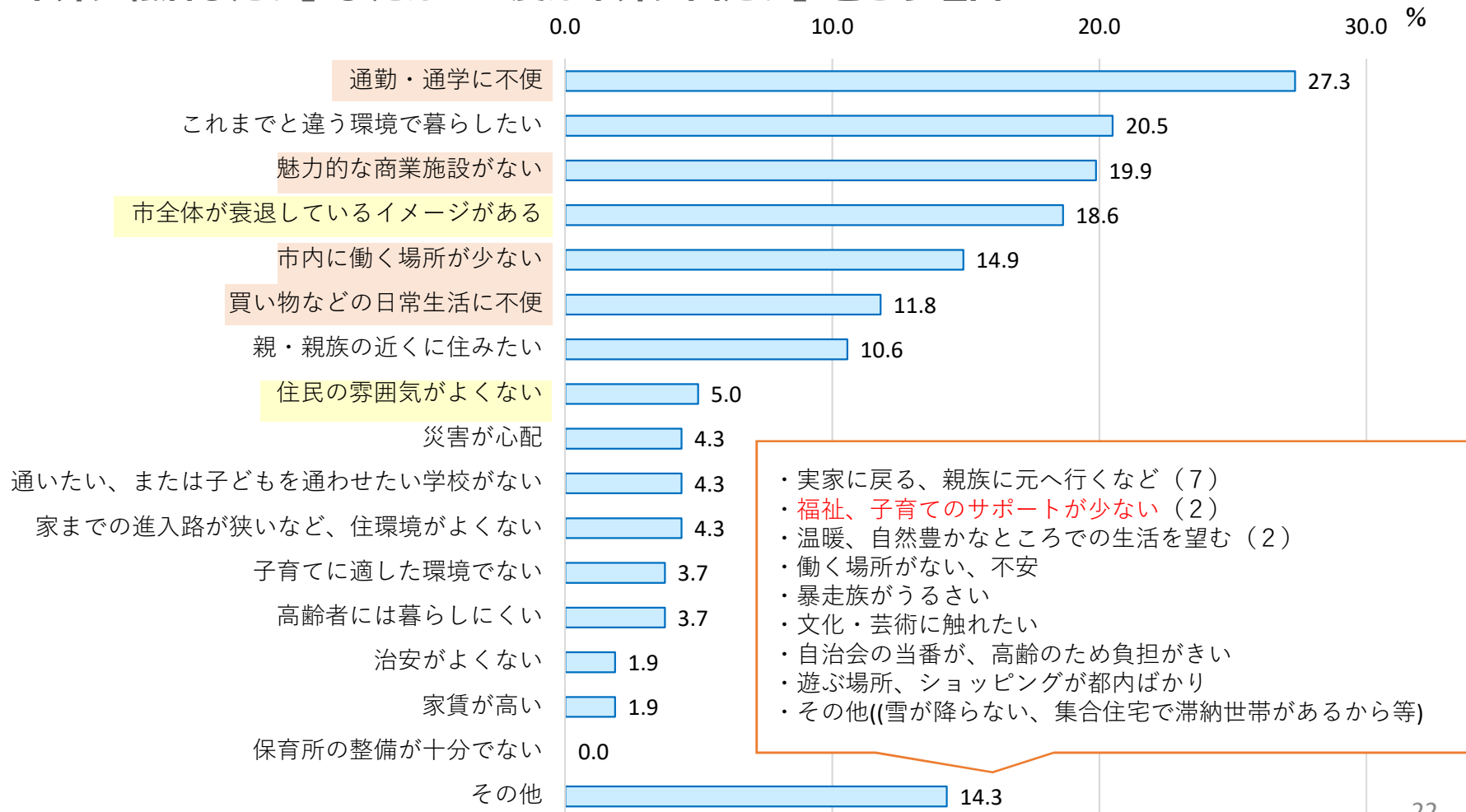
横須賀の社会減の主な要因は、転入者が少ないこと

転出意向の理由 (横須賀市民アンケート(2020))

資料2
横須賀市政策推進・行政評価委員会
令和5年(2023年) 8/1, 8/9

・交通や商業施設、労働環境などの実際の生活への不満が多い。
「衰退イメージ」「住民の雰囲気がよくない」などの感覚的な理由も目立つ

「市外に転居したい」または「一度は市外に出たい」と思う理由



転出意向の理由(年齢別)(横須賀市民アンケート(2020))

資料 2

横須賀市政策推進・行政評価委員会

令和 5 年(2023年) 8/1, 8/9

- ・ 30～40歳代で「衰退しているイメージ」が最多
若い世代ほど、交通や魅力的な施設への不満が転出理由の上位

「市外に転居したい」または「一度は市外に出たい」と思う理由

単位 %

項目	全体=(161)	～20歳代 (n=59)	30～40歳代 (n=58)	50歳代～ (n=44)
通勤・通学に不便	27.3	33.9	24.1	22.7
これまでと違う環境で暮らしたい	20.5	33.9	13.8	11.4
魅力的な商業施設がない	19.9	28.8	19.0	9.1
市全体が衰退しているイメージがある	18.6	15.3	20.7	20.5
市内に働く場所が少ない	14.9	18.6	13.8	11.4
買い物などの日常生活に不便	11.8	10.2	8.6	18.2
親・親族の近くに住みたい	10.6	6.8	10.3	15.9
住民の雰囲気がよくない	5.0	1.7	6.9	6.8
災害が心配	4.3	1.7	3.4	9.1
通いたい、または子どもを通わせたい学校がない	4.3	5.1	6.9	0.0
家までの進入路が狭いなど、住環境がよくない	4.3	1.7	5.2	6.8
子育てに適した環境でない	3.7	1.7	5.2	4.5
高齢者には暮らしにくい	3.7	0.0	6.9	4.5
治安がよくない	1.9	0.0	3.4	2.3
家賃が高い	1.9	1.7	3.4	0.0
保育所の整備が十分でない	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	14.3	6.8	17.2	20.5

資料：横須賀市民アンケート (2020)

(参考) 自市内就業比率

資料 2

横須賀市政策推進・行政評価委員会

令和5年(2023年) 8/1, 8/9

- ・住んでいる自治体内で働いている人の割合（自市内就業比率）は、**県内で横須賀が最多**
5年前と大きな変化はない

従業地と居住先の状況<従業地：県内市等>

従業地	総数			男性			女性		
	市内就業者 (人)	うち自市内で常住する者		市内就業者 (人)	うち自市内で常住する者		市内就業者 (人)	うち自市内で常住する者	
		人	割合 (%)		人	割合 (%)		人	割合 (%)
横須賀市	127,583	95,731	75.0%	72,676	50,639	69.7%	54,907	45,092	82.1%
横浜市	1,226,618	866,065	70.6%	648,540	409,856	63.2%	578,078	456,209	78.9%
川崎市	448,294	234,363	52.3%	254,815	109,120	42.8%	193,479	125,243	64.7%
相模原市	206,828	140,799	68.1%	105,073	64,224	61.1%	101,755	76,575	75.3%
三浦市	10,763	6,589	61.2%	5,086	2,846	56.0%	5,677	3,743	65.9%
鎌倉市	56,269	21,313	37.9%	27,612	8,091	29.3%	28,657	13,222	46.1%
逗子市	10,801	4,832	44.7%	4,545	1,555	34.2%	6,256	3,277	52.4%
藤沢市	141,609	75,307	53.2%	74,817	33,474	44.7%	66,792	41,833	62.6%
平塚市	91,698	53,063	57.9%	50,467	25,073	49.7%	41,231	27,990	67.9%
小田原市	72,318	43,934	60.8%	36,813	19,794	53.8%	35,505	24,140	68.0%
茅ヶ崎市	51,010	31,932	62.6%	23,794	12,291	51.7%	27,216	19,641	72.2%
秦野市	46,939	30,975	66.0%	25,183	14,591	57.9%	21,756	16,384	75.3%
厚木市	125,771	54,217	43.1%	78,938	27,909	35.4%	46,833	26,308	56.2%
大和市	62,517	28,309	45.3%	31,289	11,233	35.9%	31,228	17,076	54.7%
伊勢原市	36,116	16,006	44.3%	19,800	7,340	37.1%	16,316	8,666	53.1%
海老名市	49,376	16,821	34.1%	26,951	6,766	25.1%	22,425	10,055	44.8%
座間市	36,026	13,884	38.5%	19,289	5,610	29.1%	16,737	8,274	49.4%
南足柄市	13,045	5,982	45.9%	7,189	2,912	40.5%	5,856	3,070	52.4%
綾瀬市	29,408	11,079	37.7%	18,339	5,363	29.2%	11,069	5,716	51.6%
葉山町	5,910	2,848	48.2%	2,527	967	38.3%	3,383	1,881	55.6%

資料：国勢調査より作成

(参考) 自市内就業比率

資料 2

横須賀市政推進・行政評価委員会

令和5年(2023年) 8/1, 8/9

- ・「事務」や「運搬・清掃等」で求人数と求職数の乖離が大きい
- ・ほとんどの業種で、求人倍率が1未満（求人数が不足（色つきのセル））

	フルタイム			パート		
	求人	求職（計）	求人倍率	求人	求職（計）	求人倍率
管理	3	17	0.18	0	3	0.00
専門・技術	436	367	1.19	192	218	0.88
事務	180	761	0.24	147	516	0.28
販売・営業	75	204	0.37	136	123	1.11
サービス	234	317	0.74	344	303	1.14
保安	39	31	1.26	45	24	1.88
農林漁業	19	34	0.56	17	18	0.94
生産工程	174	189	0.92	31	65	0.48
輸送・機械・ 運転	112	162	0.69	50	67	0.75
建設・採掘	271	62	4.37	3	17	0.18
運搬・清掃・ 包装等	55	619	0.09	159	838	0.19
（内数）介護 関係	207	130	1.59	170	98	1.73

資料：横須賀公共職業安定所（ハローワーク）資料より作成（2023年3月）

転入の理由（東京23区からの転入者アンケート(2022)）

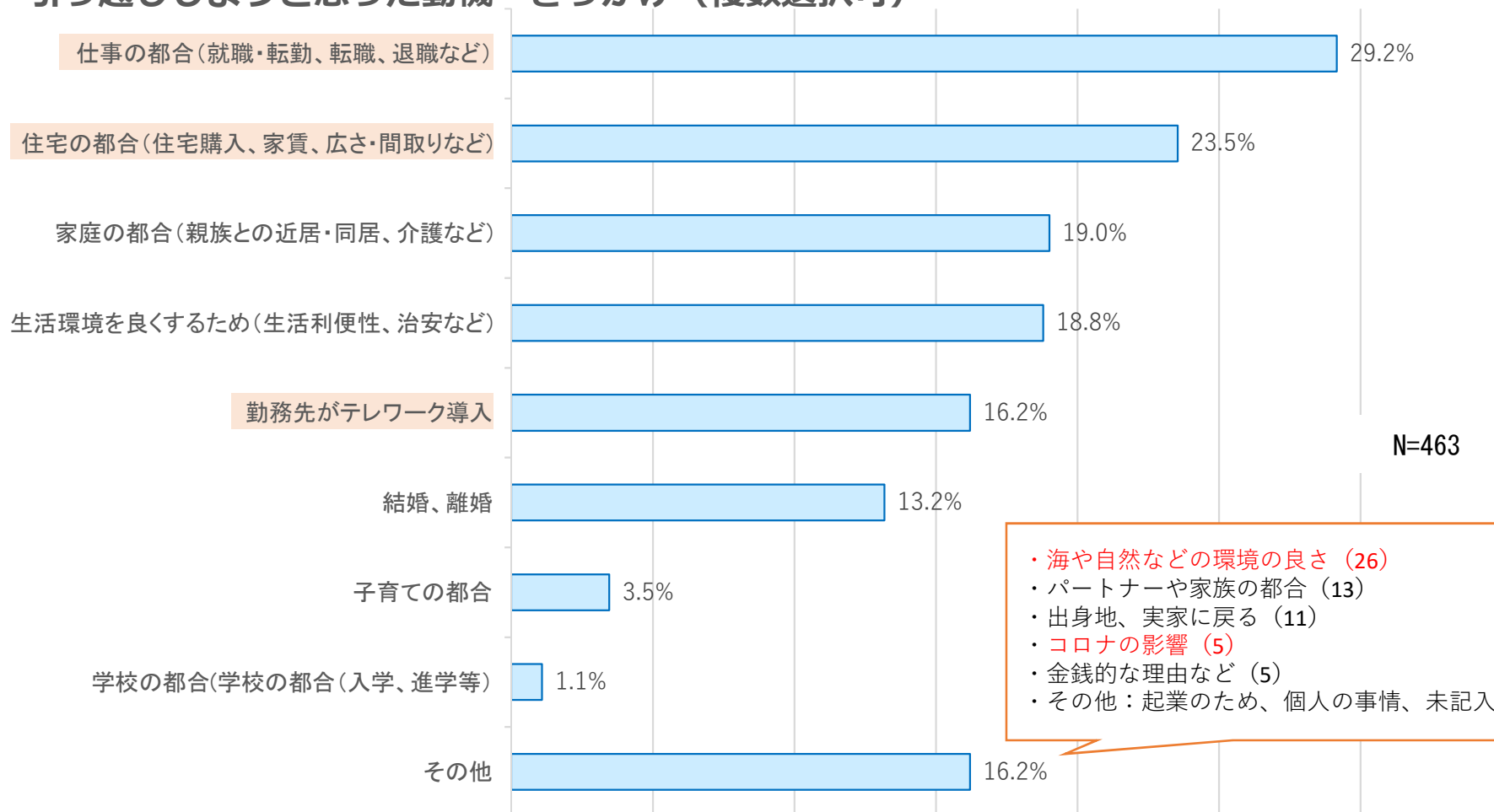
資料 2

横須賀市政策推進・行政評価委員会

令和5年(2023年) 8/1, 8/9

- ・ **仕事**の理由が最多、良好な**住環境**を求める声も多い
- ・ コロナ禍で勤務先が**テレワークの導入**したことがきっかけにもなっている

引っ越ししようと思った動機・きっかけ（複数選択可）



資料：東京23区からの転入者アンケート（2022）

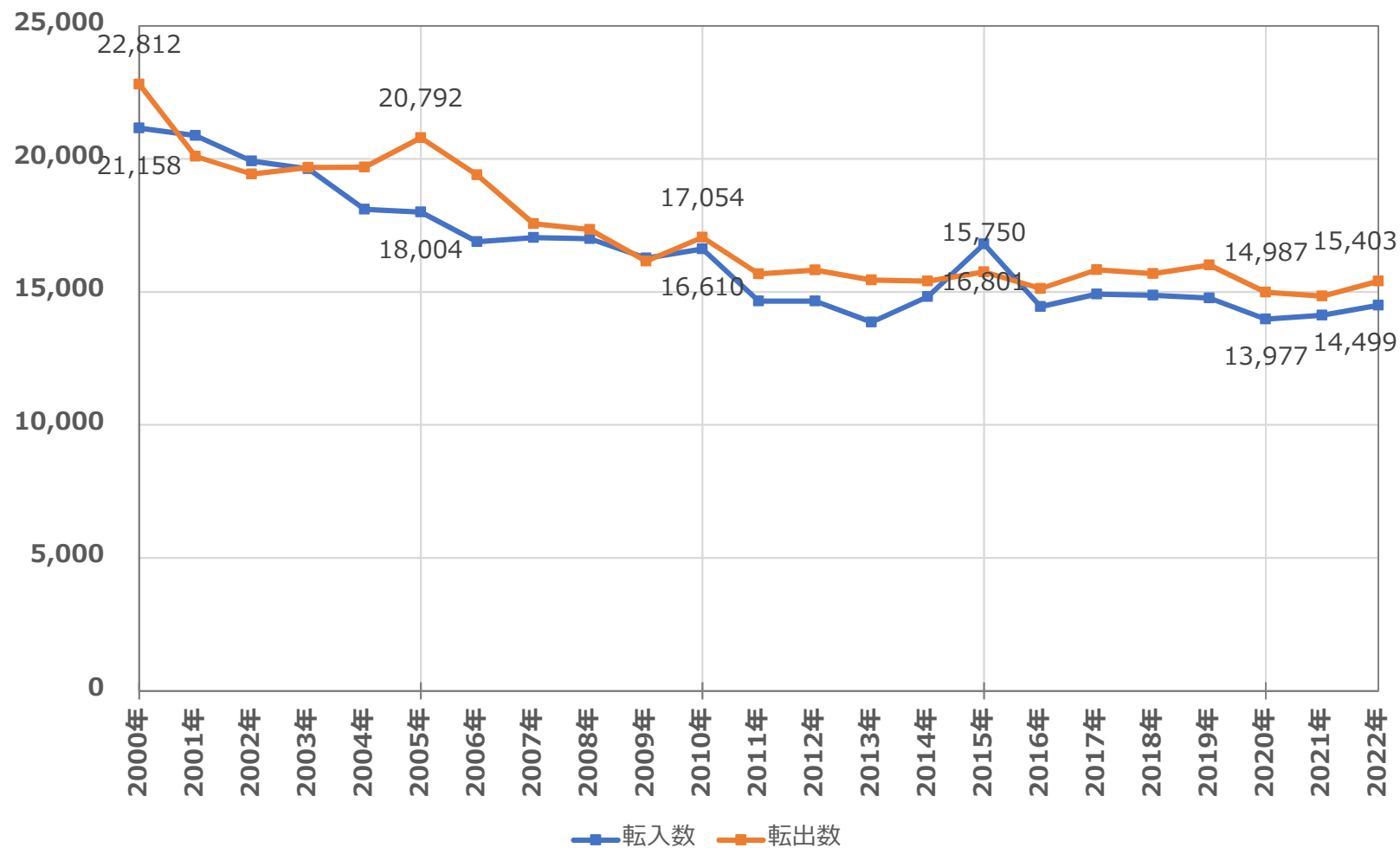
転入数・転出数の推移

資料 2

横須賀市政策推進・行政評価委員会

令和 5 年(2023年) 8/1, 8/9

- ・ 転入数と転出数は、拮抗状態で横ばい。



資料：令和 4 年度版横須賀市統計書

横須賀の「社会減」について

資料2

横須賀市政策推進・行政評価委員会

令和5年(2023年) 8/1, 8/9

- ・ **転出率**は、県内他市区に比較して**高くない**。
- ・ **転入率**は、県内他市区に比べて**低い**。



社会減の主な要因は、**転入者が少ないこと**